

内谷市長の

ゆるやか「ラム

「〃住み続けられる〃
〃住みたいまち〃長井を目指して」



7月下旬に熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生しました。

被害に遭われた皆様、そしてお亡くなりになられた方々に対し、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。近年の地殻変動や気候変動による自然災害は、私たちの暮らしを脅かす現実として深刻さを増しています。長井市でも同時期に大雨警報と土砂災害危険警報が発令され、被害が出た地域がありました。市としては、災害に対する備えをこれまで以上に万全に整えるとともに、クマなどの有害鳥獣の対策も一層強化してまいります。日頃から気になる点がありましたら、どうか市へご意見をお寄せください。

今年の梅雨明けは8月上旬と例年よりだいぶ遅い時期になりました。8月8日に行われた水まつりと最上川花火大会は、日中ゲリラ豪雨もあり一時開催が心配されましたが、多くの家族連れや市内外のお客様にお越しいただき大変うれしく思っています。

そしてお盆の時期も今年はいつもとより長く休める方も多かったと思われる、

まちなかは県外からの多くの帰省客でにぎわいました。

市は現在、長井南産業団地とあわせて、国道348号（長井地区）の道路整備を国・県に要望しています。県内13市のうち、まちなかを高速道路が縦貫していないのは長井市だけです。人口減少を見据え、若い人がこの地に住み続け、働き続けられるよう、高規格道路の整備と新産業団地整備を一体で進めてまいります。

また、長井市では移住促進に向け、子育て・教育の充実や空き家バンクの整備、民間との市街地再開発事業などに取り組んでいます。長井出身の方の帰郷や地方に移住を希望される方々がぜひ長井に住みたいと思ってもらえるよう、人口減少を緩やかに抑える取り組みを進めてまいります。



▲第31回ながい水まつり・
最上川花火大会